財団行事の詳細はホームページ等でお知らせします。

発掘調査成果発表会・展示会

内容：かながわ考古学財団が平成 30 年度に発掘調査を実施した遺跡の調査成果をわかりやすく報告し、あわせて遺物を展示します。
日時：2019(令和元)年９月 21 日(土)10:00 ～ 15:30
会場：横浜市神奈川公会堂　横浜市神奈川区富家町 1-3
申込：不要　入場無料
アクセス：JR 東神奈川駅 / 京急仲木戸駅　徒歩約４分　東急東白楽駅　徒歩約５分

秦野展示会「遺跡・遺物が語る！かながわ・秦野の歴史 2019」（仮）

内容：かながわ考古学財団が秦野市内で発掘調査を実施した遺跡の遺物を展示します。
日時：2019(令和元)年 10 月１日（火）～ 12 月１日（日）　月曜休館　開館時間 9:00 ～ 17:00
会場：秦野市桜土手古墳展示館　秦野市堀山下 380-3
申込：不要　入場無料
アクセス：神奈中バス桜土手古墳公園バス停　徒歩約２分　小田急線渋沢駅　徒歩約 20 分
共催：秦野市教育委員会

公開セミナー「相模川の低地遺跡を考える ～さがみ縦貫道路（圏央道）調査成果から～」（仮）

内容：さがみ縦貫道路（圏央道）建設事業で調査を行った海老名市・寒川町における低地遺跡の成果を活かした発表を行います。
日時：2019(令和元)年 12 月１日(日)
会場：海老名市役所　401 会議室　海老名市勝瀬 175-1
アクセス：小田急線海老名駅　徒歩約 11 分　JR 相模線海老名駅　徒歩約 16 分
共催：海老名市教育委員会

三都県連携事業(公開セミナー)「万葉の食・器・住」※行事の詳細は今後の HP 掲載をお待ちください。

内容：神奈川県・東京都・埼玉県の埋文法人連携事業です。今回は古代をテーマとしています。
日時：2020(令和２)年１月 11 日(土)
会場：戸田市文化会館　ホール　埼玉県戸田市上戸田 4-8-1
アクセス：JR 埼京線戸田駅　徒歩約７分
主催：（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団
共催：（公財）東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター・（公財）かながわ考古学財団

～おしらせ～

かながわ考古学財団公式 Facebook ページが開設されました！
財団イベント情報のほか、財団の様々な情報が投稿されます。
ホームページ同様に、こちらもクリック！よろしくお願いします！

お問い合わせ
(公財)かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
E-mail：fukyu@kaf.or.jp
TEL ：045-252-8689　FAX：045-261-8162

発掘帖バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

考古学財団発掘帖
No.32　2019(令和元)年第２号
令和元年９月 12 日発行
編集・発行：(公財)かながわ考古学財団
〒232－0033 横浜市南区中村町 3－191－1
TEL：045－252－8689　FAX：045－261－8162
ホームページ：http://kaf.or.jp

考古学財団 公益財団法人かながわ考古学財団情報誌

発掘帖（はっくつちょう）

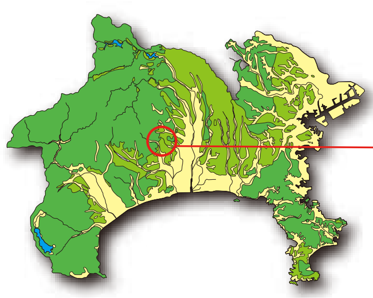
No.32
2019(令和元)年第２号

子易（こやす）・中川原（なかがわら）遺跡

〝三つ〟の異形台付土器（縄文時代後期）

異形台付土器の出土位置

伊勢原市子易・中川原遺跡出土の異形台付土器（いけいだいつきどき）です。これらは、縄文時代後期（約3500年前）のもので、あまり多くは見つからない珍しい土器です。①は、配石遺構（はいせきいこう）の下部から安置されたような状態で発見されました。割れてはいましたが、ほぼ完全な形で残っています。高さ約17 ㎝で、胴部中央に孔が空いています。②は、配石遺構の上部でやはり安置されたような状態で発見されましたが、発見当初から胴部のみが残されていました。③は住居跡の覆土（ふくど）から発見されましたが、これも胴部のみでした。①は②・③よりも少し古いものと考えられます。異形台付土器は、祭具（さいぐ）（お祭りに使う道具）であったと想定されていますが、時期によって使われ方に変化があったのかもしれません。


本号で紹介する遺跡

遺跡位置図 (1/25,000)

次ページのコラムに続きます

今回は表紙の土器が出土した子易・中川原遺跡と、古代～中世を中心に調査成果のあがっている上粕屋・和田内遺跡を紹介しています。

※調査の内容は発掘時点の成果であり、調査の進展及び出土品整理作業において、名称や評価を変更する場合があります。